

働きやすい職場作りへ「お菓子BOX」開始！

エネジン 置き菓子お届け

ちよつと一口 職場に和み



エネジンが企業のオフィスに届ける置き菓子のボックス＝浜松市中区で

働きやすい職場の雰囲気づくりの一助にと、LPガス販売のエネジン（浜松市中区）は一日、地元菓子店などと協力して、オフィスに菓子を詰めたボックスを届ける「置き菓子サービス」を始めた。仕事の合間の「ちよつと一口」をきっかけに社員同士の会話を促し、職場の人間関係の円滑化に役立ててもらう。（山田晃史）

杏林堂と協力 ■ 地元の甘味も

転職情報サイト運営のエン・ジャパンが二〇一六年に実施した退職理由の「本音」で最多。社風や風土も11%に「建前」の調査によると、建

前では家庭の事情が多かったが、本音では人間関係が25%で最多。社風や風土も11%に「建前」の調査によると、建

上り、職場環境の影響が大きい狙いを強調。「従業員側にも

また、飲料メーカーのキリンビバレッジが二月に行った「仕事中の間食に関する調査」では、小腹が減った時に間食をする人が六割強を占めた上、間食をする人はしない人より仕事の効率への意識が高かった。

こうした実態を踏まえ、エネジンの担当者は「離職防止に取り組む中小企業にとって、置き菓子サービスは職場環境改善の第一歩になる」と狙いを強調。「従業員側にも

上げるきっかけにしてほしい」と話す。エネジンが届けるボックスは天竜スギで作られ、縦二十六センチ、横二十センチ、高さ二十センチ。中には小袋入りの菓子が八十個ほど入る。菓子は、ドラッグストアチエーン、杏林堂薬局（浜松市中区）から市販品を仕入れるほか、浜名、興浜名湖両商工会と連携し、外山本店（北区）や近江屋製菓（西区）といった地元菓子店の商品も詰め合わせる。

全国では、コンビニやカフェエチエーンなどがオフィスに無人の商品販売スペースを設ける動きが広がり、菓子業界では大手の江崎グリコの「オフィスクリコ」が古株。エネジンは、協力する地元菓子店を増やして地域色で差別化する。本業のLPガスや電気などの販路開拓の起点にもしたい考え。利用者の声を地元菓子店の新商品開発に生かすことも見据える。

仕事の合間の「ちよつと一口」をきっかけに社員同士の会話を促し、職場の人間関係の円滑化に役立ててもらうのが狙いです。コミュニケーションの活性化が離職防止に、また休憩を取ることで仕事の効率化も見込めます。

平成30年(2018年)6月2日(土)

中日新聞紙面掲載

